

中之島バンクス 事業評価書（事務局案）

令和8年1月29日（木）
 令和7年度 第1回
 大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会

資料 1-2

事業概要

評価年度	令和3年度 ～ 令和7年度
区域名・事業名	中之島バンクス・堂島川賑わい空間創出事業「中之島バンクス」
占用主体	(公益財団法人)大阪府都市整備推進センター
事業者	(株式会社)長古堂
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水都大阪の象徴的な水辺空間として、堂島川の親水性を活かしたまちづくりの推進を目的とする。 ・ 平成22年4月、当該敷地を『中之島バンクス』としてグランドオープン。 ・ レストランやカフェ、ウェディング施設など複数店舗が水辺の魅力を活かした運営を展開中。 ・ 遊歩道や水上デッキ・防災船着場も活用したイベント等を実施している。

事業評価

賑わい創出	地域活性化 （地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水都大阪の象徴的な水辺空間として、堂島川の親水性を活かしたまちづくりを推進している。 ・ 水辺の特性を活かした空間づくりを行い、周辺企業や訪れる方々に川を通して非日常的な空間を提供することで、地域の憩いの場としての機能を果たしている。 ・ 水上デッキや防災船着場を活用したイベント（中之島リバーフェスタ、精霊流しなど）を通じて、地域住民や来訪者が川と触れ合える機会を創出。ウェディングやカフェなどのテナントも水辺の魅力を活かした運営を行っており、都市のにぎわいと地域文化の継承に貢献している。
	水辺の賑わい、集客性 （水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水上デッキを活用したウェディングやクルージング付きの食事コースなど、都会では味わえない水辺体験を提供し、集客力を高めている。多彩な業種のテナント誘致により、アパレル・飲食・服飾雑貨など幅広い世代が楽しめる空間を創出。 ・ 季節ごとのイベントやテナント主催の催しも実施され、水辺の魅力向上に寄与している。 ・ 令和6年10月に一部店舗が撤退したが、令和7年10月には後継となる新規テナントが出店し、来場者数も年々増加傾向にあり、さらなる賑わいの創出が期待されている。 <p>[利用者実績]</p> <p>令和3年度 92,823人 令和4年度 95,659人 令和5年度 101,250人 令和6年度 89,045人</p>

	<p>情報発信 (水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行っているか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専用ウェブサイトや駅構内の看板、ポストカード、チラシなど多様な媒体を通じてイベントや施設情報を発信し、認知度向上に努めている。 ・近隣企業との連携により駐車場の提携や地域行事への協賛も行き、地域とのネットワークを強化。さらに、環境啓発を目的としたスマートごみ箱「SmaGO」の設置や、地元小中学校の社会見学の受け入れなど、地域との交流や持続可能な取り組みも展開している。
	<p>次年度以降の取組方針 (提案内容の実現性はあるか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の経年劣化に対応するため、河川管理者や占有者と連携し、美観維持に向けた改修を一部開始している。水辺との親和性を意識したベンチや機の設置、防犯カメラの増設など、安全性と快適性の向上にも取り組む。 ・令和7年10月には新規テナントの出店もあり、空間の魅力を高める施策が継続的に実施されていることから、事業の実現性は高く、今後も安定した運営が期待される。
河川管理	<p>周辺との調和 (一般通行の障害、騒音、臭気等について十分に配慮されたか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境との調和を重視し、安全・快適な空間づくりに努めている。防犯カメラの増設により、敷地内の交通車両の安全確保と防犯対策を強化。 ・また、施設的美観維持のために老朽化した化粧板の改修や、川辺との親和性を意識したベンチ・機の設置も実施。これらの取り組みにより、一般通行者への配慮や騒音・臭気の抑制に繋がっており、地域との共存を意識した運営が行われている。 ・苦情事例としては、通行人から『飲食店利用者が騒いでいてうるさい』、『店内のベンチを通路に仮置きして危ない』等の通報があったが、いずれにおいても、センターから(株)長古堂を通じてテナントに速やかに連絡を入れ、騒音については、利用者への注意喚起を行うことで再発防止に努め、仮置きのベンチについては、テナントが速やかに撤去するなど、対応を行った。
	<p>良好な施設の維持管理 (維持管理の不備により施設利用者に危害を及ぼすことは無かったか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全性と快適性を保つため、(公財)大阪府都市整備推進センターでは週1回の維持管理点検、(株)長古堂関係者においては各テナントによる店舗前清掃の実施など、定期的な維持管理を行っている。また、経年劣化による化粧板の破損箇所は(株)長古堂が改修を行い、美観と安全性の向上に努めている。 ・また、防犯カメラの増設により、敷地内の安全確保を強化するなど、利用者の安全を守る体制が整備されており、過去5年間大きな危害の発生は報告されていない。
	<p>利用者の安全確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全確保に向けた取り組みとして、防犯カメラの増設や施設の老朽化部分の改修を実施し、安全性と快適性の向上を図っている。 ・また、防災対策として、災害時対応マニュアルの更新や、年2回以上の消防訓練、テナント会での防災勉強会を実施。さらに、避難場所として中之島小中一貫校などを指定し、緊急時の対応体制も整備されている。これらの取り組みにより、利用者が安心して過ごせる環境づくりが進められている。 ・令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島地震に伴う津波注意報の発令時は、営業時間中であり、センターと長古堂の二者間で速やかに連絡調整を行い、各店舗関係者から店舗施設利用者に注意喚起を実施。また、一連の情報伝達については、センターから河川管理者に速やかに報告を行った。

<p>占用施設の種類 (特区内で認められている占用施設と実際の設置施設が合致しているか)</p>	<p>・実際の設置施設は特区内で認められている占用施設に合致している。</p> <p><中之島バンクスで認められている占用施設と実際の設置施設(四角囲み)> <u>広場</u>、イベント施設、<u>遊歩道</u>、船着き場、<u>船舶係留施設</u>、<u>前述に掲げる施設と一体をなす飲食店・売店</u>・<u>オープンカフェ</u>・<u>照明</u>・<u>音響施設</u>・<u>切符売場</u>・<u>案内所</u>、<u>船上食事施設</u>、<u>その他都市及び地域再生等のために利用する施設</u></p>
<p>取組の総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺の特性を活かした空間づくりを行い、周辺企業や訪れる方々に非日常的な空間を提供することで、地域の憩いの場としての機能を果たし、地域活性化に貢献している。 ・多彩なイベントとテナント誘致により高い集客力を維持。 ・情報発信と地域連携を通じて交流と認知度を向上。 ・安全対策と施設管理が行き届き、安心して利用できる環境を確保。 ・令和8年度以降も引き続き、水辺の特性を活かした空間づくりやイベントの実施等を予定されており、事業を推進する意欲が示されていることから、一定の実現性がある。
<p>事業評価(案)</p>	<p>総合的に評価し、事業継続は妥当である。</p> <p>水都大阪ビジョン等でも位置付けのある水都大阪の拠点として、地域との連携を意識した取り組みを実施するなど、水都大阪のシンボリックな水辺空間として親水性を活かしたまちづくりに繋がる更なる取り組みに期待する。</p>